

11月14日 (火)

感謝と信仰

聖書朗読 ルカ 17:11~19

イエスの足元にひれ伏して感謝した。それからその人に言われた。“十人いやされたのではないか。九人はどこにいるのか。”

ルカ 17:16、19

感謝と信仰は、少なくとも三つの重要な部分で切り離すことの出来ない繋がりをもっています。

感謝は、自分の力ではできないことを必要とし、それが与えられているとき、生まれます。私が一番必要としている、赦し、健康、充足感などは、自分の力で得ることはできません。しかし、そえが与えられていると思う時感謝が生まれます。

感謝は、自分が求めるもの、必要なものを与えられてると感じた時生まれます。自分で見つけたのではありません。自分で手に入れたのではありません。昔から言うように、“できればいいけど、できない” ことなのです。私が必要としていたものは、他の誰かから与えられたものなのです。

感謝は、贈り物と贈り主の両方に対してありがたいと思う気持ちです。感謝は、だから与えられないとか、与えられるからねと約束するものではありません。感謝とは単純に、自分が必要としていたものをくれた人に、“ありがとう”と伝えることです。サマリヤのライ病人にとっては、健康と救いの両方を与えられました。

十人のライ病人は、不治の病にかかり、社会から孤立し、絶望的な状況にありました。十人全員は、“癒され”ました。でも、一人だけが“救われ”ました。その違いは、癒されたことを感謝し、癒して下さった方を信じるという信仰の証でした。

讃美歌 讃美歌 21 11

祈り 主よ、私は自分自身を救うことができません。あなたの助けなしには、なりたいたいと思う人になることもできません。これまで私を助けてくださってありがとうございます。これからもあなたが私を私を助けてくださることを覚えて感謝いたします。イエス様の強いお名前によって。アーメン。

ノースカロライナ州 ダーハム
ポール・ワトソン

11月15日 (水)

受け取ることの恵みを学ぶ

聖書朗読 ルカ 18:15~17

あなたがたは、何か、もらったものでないものがあるのですか。

Iコリント 4:7

孫ができるとは、なんと素晴らしい喜びなのでしょう。子供に贈り物を与えるほど心が満たされることはあるでしょうか？大人に贈り物をする時、“そんなことしなくてよかったのに。”などと気まづくなったりしますが、子供はそうではありません。贈り物を渡し終わる前に、もう包み紙を破いてしまうでしょう。

弟子たちは、イエスの元に連れてこられた子供たちを追い払おうとした時、意地悪からそうしたのではありません。弟子たちの行動は、当時の文化に沿ったものでした。当時、重要なラビ人にとって、子供たちはあまり価値のない存在でした。弟子たちには、主人の手を不必要に煩わすものから守る役割がありました。でも、イエスの目には、子供たちは価値のある存在でした。イエスが、子供たちから学ぶことができる提案された時、弟子たちはバツの悪い思いをしたかもしれません。子供たちから、贈り物を受け取る時の限りのない喜びを学ぶことができます。

ですから、子供のように、思いっきりお祝いしましょう。私たちは、神の支配の元にあるのです。私たちは、神が私たちを創造された時に望まれたように生きることができるのです。イエス様の犠牲の血によって、神の御国への扉が大きく開かれました。これほど素晴らしい贈り物は、他にはありません。さあ、大きな音を立てて、贈り物の包み紙を思いっきり破りましょう。

讃美歌 イエスさまがいちばん

祈り 命の贈り主よ、あなたの手から私たちが受け取る全てのものに感謝を表すことで、あなたに喜びをもたらすことができますように。イエスの血を通して可能にされたあなたの御国という贈り物を子供のよう喜びをもって受け取ることができますように。イエスのお名前をとおして。アーメン。

テネシー州 ブレントウッド
アール・ラベンダー

11月16日(木)

内にある暗闇

聖書朗読 ヨハネ 1:1~8

このいのちは人の光であった。

ヨハネ 1:4

ある日、私がエレベーターに乗った途端に、故障して止まってしまいました。ドアが閉まり、電気が消え、ボタンは稼働停止になってしまいました。私は小さなエレベーターに閉じ込められてしまいました。非常灯の小さな光だけで、あとは真っ暗闇でした。私はパニックのなかで、いろいろ考えました。どれだけここに閉じ込められるんだろう？出る方法はあるんだろうか？何時間ここに閉じ込められるんだろう？私が発見される時、私はどんな状態だろう？私はドアを叩いて、大声を出して、外の動きに耳を傾けました。何も起きませんでした。そのうち救出されるとわかっていましたが(35分後に救出されました)、暗く閉ざされた場所に閉じ込められた私は、神から離れることがどんなことか、想像することができました。発見され、また人と、神と交わりをもてることをどんなに願ったでしょう。誰かがエレベーターの稼働スイッチを入れて、エレベーターのドアは開きました。エレベーターから脱出して、色々と考えた後、こんな事を思いました。私達も色々な面で人生の中に閉じ込められているのではないか？エレベーターの中は、私達を人生の中で閉じ込める様々なものの象徴ではないか？神は私達を知っておられ、気にかけてくださいます。神は、全能です。神は、私達の人生に対する心配を遥かに超えた、素晴らしいお方なのです。

讃美歌 276

祈り 主よ。私たちが真に光の道を歩むことができますよう、助けてください。イエスのお名前によって。アーメン。

トニー・アッシュ

11月17日(金)

病人から学ぶ

聖書朗読 ヨハネ 5:1~15

イエスは彼が伏せっているのを見、それがもう長い間のことなのを知って、彼に言われた。「よくなりたいか。」
ヨハネ 5:6

この病人は、38年間、おそらく人生の大部分、体が不自由でした。彼は、ベテスタダの池の水の癒しのお話を聞いていたので、水がかき回された時に、誰かが彼を水まで運んでくれることを期待しながら、来る日も来る日も池のそばで過ごしていました。イエスが病人によくなりたいかと聞いた時、こんな言葉を付け加えたかもしれません。「池の水を信じてはいけません。池にはなんの力もない。」ついに、イエスは病人にこう言われました。「起きて、床を取り上げて歩きなさい。」すると、その人はすぐに直って、床を取り上げて歩き出しました。

イエスはこの病人を助けようとされていましたが、病人もまた、床を取り上げて歩き出すという行動を取らなければなりません。イエスは私たちに、「行きなさい、教えなさい、仕えなさい、そして、光でありなさい。」とされているのでしょうか？私達は、この病人のように、悲観的な考え方や何年もの間積もりを受け取るような人間にはなれないと恐れ続けるのでしょうか？イエスは、私たちがイエスの力にあつて、信仰の第一歩を踏み出し、行動を起こすことを待っておられます。イエスの力を信じることは、過去の問題に囚われることから救ってくれます。将来は、私たちがイエスの招きに応じて一歩を踏み出せるかどうかにかかっています。

聖歌 514

祈り 天のお父様、私の不安や言い訳を理解してくださってありがとうございます。あなたに仕えることを妨げる全ての事を克服するために、あなたの愛と力を信じるという信仰の第一歩を踏み出す必要を認識することができるよう、助けてください。あなたの恵みは十分です。救い主の愛なる力にあつて。アーメン。

サウスカロライナ州 コロンビア
マーク・ヤング

11月18日(土)

常に働いておられる

聖書朗読 ヨハネ 5:16~23

兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。

ガラテヤ 5:13

創世記2章2節で神が休まれたと読むとき、神がハンモックで昼寝をしたり、他の方法で休んでいるところを想像するかもしれません。でも、創世記2章3節では、神が休まれたことについて明確にしています。神はなさっていた全ての創造のわざを休まれました。神の働きは、止まることはあるのでしょうか？これは単に、創造を完了されたということかもしれません。

イエスは安息日に38年間体が不自由だった病人を癒したことで、安息日を破ったと非難された時、こう言われました。「わたしの父は今に至るまで働いておられます。ですからわたしも働いているのです。」(ヨハネ 5:17)

神は、いつも働いておられます。私たちは、もうそれを知っていますよね。神は、いつでも私たちの祈りを聞いてくださり、神の民のために働いてくださっていることを、私たちは知っています。神は、ただ宇宙を自動操縦されているわけではありません。神は安息日に休みを取られません。神は、いつも働いておられます。イエスは、指導者たちに律法の真の意味を理解してほしいでした。私たちの神は、いつも働いておられます。

讃美歌 87B

祈り お父様。あなたに関するこの真実は、なんと栄光に満ちていて、あなたはなんと偉大なお方なのでしょう。あなたが24時間、毎日私たちの父でいてくださることを感謝いたします。キリストにあって。アーメン。

アラバマ州 オペリカ
ブルース・グリーン

11月19日(日)

イエスに気分を害されましたか

聖書朗読 ヨハネ 6:60~71

だれでも、わたしにつまずかない者は幸いです。

ルカ 7:23

ヨハネ6章に記録されている、イエス様の説教の後で、どうして沢山の弟子たちはイエス様から離れていったのでしょうか。イエス様は、弟子たちが期待していたことをしなかったのでしょうか？同じ状況が、ルカ7章で洗礼者ヨハネが「おいでになるはずの方は、あなたですか？」という質問を主のもとに送った時にも見られます。

もし神が私たちの望み通りに働いてくださらなかったら(癒されない、直してくださらない、人生の中の問題を解決してくださらない)、神に背を向けるのでしょうか？私たちが悲劇的な状況や、酷い苦しみにあつたらどうでしょう？神のヨブのおかれた状況への答えを覚えていますか？「わたしが地の基を定めたとき、あなたはどこにいたのか？」(ヨブ記38:4)神が、ヨブの苦しみの理由を説明されなかったことに気がきましたか？

神が「説明のつかない」時、私たちは神に背を向けたくなるのでしょうか？そうであるならば、私たちもペテロの「私たちがだれのところに行きましょう。」という質問に直面しなくてははいけません。配偶者や友人に信仰をおき、その人を知恵、励まし、交わり、力を与えてくれる、「特定の人」としてその人にいつも頼る人もいます。でも、人は他の誰かの重荷を背負うことはできません。誰もが自分自身の弱さを持ち、何かを必要としています。イエスの代わりはいないのです。主のみが私たちを創造され、救われ、養われるのです。

讃美歌 198

祈り お父様。あなただけが唯一の神であり、力と知恵と命の源です。あなたがどう働かれているか、私が理解できないときに、私の信仰を増してくださいように。暗闇にある時にも、あなたを信頼することができすように。イエスのお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック
リサ・ラングフォード